

● 発行所
 北海道被爆者協会
 札幌市白石区平和通
 17 丁目北 6-7
 北海道版 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内
 TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会

ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org)

メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp



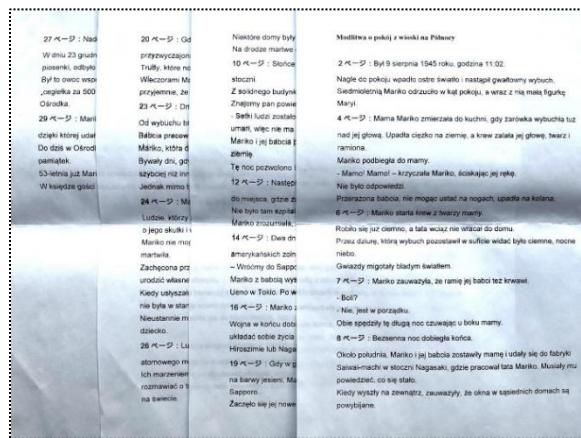
次代を担う子どもたちに届け『モア・ヒバクシャ会館物語』のたい—そんな願いを込めて制作 朗読が入り、エンディングでは、を進めていた標記の DVD が間 絵本の文を書いたこやま峰子さんもなく完成します。

DVD の長さは 24 分 36 秒で 3 つの部分から成っています。オープニングでは、原爆のすさまじさと非人道性を当時の写真と被爆者の証言で説明し、中ほどに 2020 年に発刊した絵本『北の里から平和の祈り—ノノ—』の柳川慶子さんです。

DVD 『ノーモア・ヒバクシャの願い』
 —絵本『北の里から平和の祈り』が語りかけるもの—
が間もなく完成します！

DVD 完成試写会を行います
 4 月 6 日(土) 午前 11 時
 於 ヒバクシャ会館 3 階
 入場無料、どなたも自由に見られます。

札幌市のさぽーとと基金の助成を受けていることもあり、まず札幌市の小中高に寄贈します。その後全道の希望する学校や広く希望者に広げていきたいと思えます。学校のみならず諸団体の活動にも使えます。



この程絵本『北の里から平和の祈り』の絵を描いた藤本四郎さんからお手紙が届きました。

2022 年、滋賀大学の客員教授近兼敏教授が、ウクライナとロシアの子どもたちに平和の絵本を届けようとの考えのもと、ポーランドに避難してきたウクライナの子どものために絵本の寄贈を呼びかけました。絵を描いた藤本四郎さんにも話があり、藤本さんは『北の里から』など何冊かの絵本を提供しました。するとポーランド一、二と評判の—ヤギユロン大学日本語学科の学生たちがこの絵本を早

絵本のポーランド語訳届く
 この程絵本『北の里から平和の祈り』の絵を描いた藤本四郎さんからお手紙が届きました。

昨年未だに絵本 DVD の作成など今年度の事業遂行のための 100 万円募金を呼びかけたところ、さっそく多くの方々から暖かいご支援をいただいております。ありがとうございます。

2 月末日現在、目標額の達成まであと一歩となりました。必切期限を過ぎていますが、何としても目標を達成したいと思えます。募金の期間を 3 月 20 日まで伸ばしますが、もちろんそこを超えても大丈夫です。

ご協力のほどよろしくお願致します。お問い合わせは被爆者協会 011-866-9545 へ。

速ポーランド語に翻訳したので、その翻訳文がヒバクシャ会館に届き、早速 2 階の展示室に並べられました。

両親を失ってもたくましく生き抜くまり子の人生が子どもたちを励ますといいですね。

引き続きご協力を
よろしくお願ひしま
す。3月20日まで延長!
100万円事業遂行募金

速ポーランド語に翻訳したので、その翻訳文がヒバクシャ会館に届き、早速 2 階の展示室に並べられました。

両親を失ってもたくましく生き抜くまり子の人生が子どもたちを励ますといいですね。